

令和元 年 5 月 7 日

平成30年度寄附講座活動実績報告書

寄附講座名：在宅チーム医療推進学

所 属 長： 山脇 正永 印

1 寄附講座の目的

京都府医師会等と協力して、我が国で最先端の在宅医療、地域医療についての臨床研究及び基礎研究を遂行するとともに、本学及び京都府における卒前教育・卒後教育に関する活動を行う。

2 報告年度に係る取組状況

① 医学部6年生のクリニカル・クラークシップ（診療参加型臨床実習：以下クラークシップ）において、総合診療科選択の学生に在宅医療実習プログラムが開始された。本実習の効果については、平成30年度日本医学教育学会総会、日本プライマリケア連合学会学術大会、日本在宅医学会等にて全国に発信した。

② 卒後教育（初期臨床研修）における在宅医療研修プログラムの策定・運営

本学卒後臨床研修プログラムにおいて、総合診療科選択の学生を対象に、在宅医療研修プログラムが開始された。本実習の効果については、平成30年度日本医学教育学会総会、日本プライマリケア連合学会学術大会、日本在宅医学会等にて全国に発信した。

③ 在宅医療に関する研究

在宅医療、総合医療に関する基礎研究、臨床研究を遂行し、下記のように学術論文及び学会発表を行った。成果については国際学会を始め国内外でも高く評価された。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

1. 建部陽嗣, 樋川正仁. 論文の新検索システムが示唆する日本の鍼灸教育の最大の弱点. 医道の日本 2018;77(3):168-70.
2. 建部陽嗣, 樋川正仁. 論文の新検索システムで露呈する日本の鍼灸研究の大幅な遅れ. 医道の日本 2018;77(2):136-8.
3. 山根由起子. 多職種セミナー～地域医療の魅力と可能性を探る～富良野圏域の医療を支えるために必要な資源とは 講演講師、これからの地域を支える医療と介護ワークショップ企画運営. 旭川医科大学主催. 2018.
4. 山根由起子. 「摂食嚥下の基本と障害に対するポイント 最期までのケアの必要性」. 講演講師. 京都府歯科衛生士学術研修会. 講演講師. 京都市国際交流会館. 2018.
5. 山根由起子. 名寄の「地域医療」を育てる. 地域で取り組む「食べる支援」～最期まで幸せに「生きる」を支えるために～. 講演講師. 名寄市立総合病院. 2018.

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。